

### 指定管理者制度活用事業 評価シート

#### 1. 基本事項

施設名称	川崎市宮前スポーツセンター	評価対象年度	平成26年度
事業者名	株式会社明治スポーツプラザ・公益財団法人川崎市スポーツ協会共同事業体	評価者	宮前区役所地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	宮前区役所地域振興課

#### 2. 事業実績

利用実績 (単位:人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	26年度	18,358	25,906	21,959	21,941	21,638	22,423	27,657	21,588	15,935	26,210	38,486	24,335	286,436
	25年度	14,524	15,145	20,017	20,503	14,752	23,650	17,546	23,806	14,122	14,299	21,706	30,420	230,490
	24年度	14,327	16,240	21,871	17,344	14,795	20,170	18,027	21,120	12,290	17,601	19,387	17,997	211,169
	23年度	13,591	14,353	17,091	17,581	11,988	19,362	15,577	17,395	16,281	12,696	17,709	18,472	192,096
収支実績 (単位:円)	収入	指定管理委託費	48,108,106											
		利用料金収入	24,044,838											
		事業収入他	44,218,782											
		収入合計	116,371,726											
	支出	管理運営費	97,960,177											
		支出合計	97,960,177											
収支差額		18,411,549												
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トレーニング室利用者との懇談会で寄せられた意見から、トレーニングマシン初心者や不慣れな方への対応の充実を図るため、指定管理者が有するノウハウを活かし少人数で行う「はじめてトレーニング」「お手軽ショートプログラム」を平成26年10月から開催した。その結果、トレーニング室の利用者数が前年より大幅に増加し(7,636人増)、スポーツや健康増進に取り組む機会を提供した。</li> <li>●夏場のトレーニング室で、利用者が持ち込むドリンクを冷やすため冷蔵庫を設置し、熱中症対策が図られた。</li> <li>●スポーツ教室を前年から3教室増やし、参加者数が前年より2,460人増え、区民がスポーツや健康増進に取り組む機会を提供した。</li> <li>●年4回開催されるスポーツ教室を多くの区民に提供できるよう、市政だよりに掲載するとともに、区内町内会・自治会へチラシを回覧する等、積極的に広報を行った。</li> <li>●トレーニング室のモップやタオルを吸汗性の高い素材に交換し、次の利用者が気持ちよくマシンを使用できるよう配慮している。</li> <li>●施設利用回数券は、家族でも利用しやすい100円券12枚綴りを昨年に引き続き1,000円で販売し、利用者の利便性向上を行っている。(7,615組販売)</li> </ul>													

#### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	3 (0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4 (0.8)	4
	(基本方針) ●公の施設として、区民の健康増進の役割を十分理解し、若い世代のスポーツ教室にとどまらず、高齢者を対象とした介護予防プログラム、子どもの体力向上、運動への関心を高めるプログラム等、幼児から高齢者まで年齢や利用目的にあった教室を開催した。 (事業成果) ●外部委託による「顧客満足度調査」を実施し、総平均点72.0点が昨年度より2.8ポイント向上した。また、体調が良くなったと運動の効果を感じている人が71%いるなど事業成果が高い。評価の低かった駐車場やシャワー室などは、コインパークのマップの配布やシャワーマットの設置など、対応できるものは速やかに対応するなど検証も適切に実施している。スポーツ教室参加者へのアンケートでは、教室、指導内容への満足度が94%と高い評価を得ている。 ●その他、ご意見箱の設置など、直接的・間接的に利用者の声を聞くとともに、トレーニング室利用者との懇談会や地域関係団体(周辺自治会、小学校・中学校、総合型地域スポーツクラブ等)との意見交換を行うなど、積極的に課題の抽出に努めている。				

管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすことが無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3 (0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3 (0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3 (0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	4 (0.8)	4
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3 (0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	5 (1.0)	5
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3 (0.6)	3
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4 (0.8)	4
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	4 (0.8)	4
	(評価の理由) (諸施設の活用と提供サービス) ●トレーニング室や研修室の稼働率が低い区分を利用し、予約不要で参加できる「お手軽ショートプログラム」などを開催し、有効に施設を活用した。また、運動前後に手軽に補給できるようプロテイン等のバラ売りをするなどサービス向上を図っている。 (利用促進) ●トレーニング室利用者との懇談会で寄せられた意見から、トレーニングマシン初心者等、不慣れな方のため、少人数で行う「はじめてトレーニング」「お手軽ショートプログラム」を平成26年10月から開催した。その結果、トレーニング室の利用者数が前年より大幅に増加し(7,636人増)、スポーツや健康増進に取り組む機会を提供した。 ●年4回開催されるスポーツ教室を、市政だよりに掲載するとともに、町内会・自治会へチラシを回覧する等、積極的に広報を行った結果、教室受講者及び施設利用者の増加につながった。 (職員研修) ●休館日を利用し、業務運営に係る様々な研修の他、毎月テーマを定めて接遇に関する研修を行い、全員が継続して実践できるよう事務室内にテーマを貼り出している。また、出勤スタッフ全員が毎朝CPR訓練(心肺蘇生法)と接客10大用語唱和を実施しており、緊急時に全スタッフが即座に的確な対応ができる体制を整えている。 (危機管理) ●宮前スポーツセンターは、犬蔵中学校格技室棟と建物が一体のため、火災等の発生時には迅速な連絡が必要であり、犬蔵中学校との連絡体制の再確認や、夜間や休館・休校時の機械警備会社との連絡体制など、機器の点検も含め連絡・連携体制が確立されている。				
事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3 (0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	4 (0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4 (0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3 (0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3 (0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	4 (0.8)	4
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4 (0.8)	4
	(評価の理由) (個人開放事業) ●バドミントンを2枠とし、利用者が約1.5倍増加した。また、民間スポーツクラブと同等の機器設置や同レベルの指導員による無料ショートプログラムの実施、トレーニングマシン初心者等へのきめ細かな対応を行った結果、トレーニング室の利用者が前年比116.9%となっている。 【トレーニング室利用者数】 平成25年度 45,246人 平成26年度 52,882人 (教室等事業) ●利用者からの意見・要望を考慮し、美姿勢ストレッチ教室の20歳～50歳クラス、ヨガ初心者向けクラス、ジャズダンスクラスの3教室を新設し、26年度は、35教室実施した。これらは、指定管理者が持つノウハウや利用者アンケート等のセルフモニタリングにより実施され、多くの区民が参加できる内容となった。 【スポーツ教室受講率】平成23年度：79%、平成24年度：89%、平成25年度：88%、平成26年度：86% (総合型地域スポーツクラブの支援) ●総合型地域スポーツクラブは、未だ認知度が低く、多くの区民へ周知することが重要なため、地域連携の一環で運営連絡会(参加団体：南菅生自治会長、犬蔵自治会長、犬蔵小学校長、犬蔵中学校長、総合型地域スポーツクラブ2団体、フロントウんさぎぬま、スポーツ推進委員(欠席))を発足させ、当該クラブの概要や活動内容を紹介し、自治会、学校との連携に向け情報交換が行われた。また、スポーツクラブから講師の派遣を受けたり、イベントで施設を提供するなど連携した取り組みを行っている。 (自主事業) ●「宮スポフェスタ」のイベントで、トップアスリートが参加する「アメフト体験」の実施の他、指定管理者の利用者還元の一環で、利用者からクレームが多かった第2駐車場について、市の承認を受けダスト舗装を施工し利用者の利便性向上を図った。				

収 支 状 況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3 (0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3 (0.6)	3
	(評価の理由) 予算と決算の比較増減があるが、単年度内で調整し、適正に執行していると評価する。				

#### 4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 地域と連携した運営と様々なニーズに応える教室事業の展開など、公の施設としての理念を尊重し、公共施設としての役割を果たすよう努めている。
- 市や区・保健福祉センター等の事業や地域連携イベントへの協力等、スポーツや健康増進、防犯、青少年育成など行政の取組にも積極的に参加している。
- 利用者のニーズを把握し、多くの区民がスポーツセンターでスポーツや体力向上を図れるよう、指定管理者が持つノウハウを活かした事業展開がされており、総利用者数が増加している。
- 稼働率が低い研修室で予約を必要とせず気軽に参加できるプログラムを実施するなど施設を有効に活用している。
- 施設・設備の維持管理も計画的に保守点検が実施され、館の運営に支障がないよう管理されている。
- 所管課と定期的な打合せを行い、お互いが連携して施設の維持管理、サービスの向上、スポーツセンターの目的等を意識した管理運営がなされている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 利用者ニーズを見極め、運動を始めるきっかけづくりや継続が可能となるよう、指定管理者が持つノウハウを最大限活用した事業を実施し、多くの区民がスポーツに親しめる運営を行うこと。
- 高齢社会に対応し、いつまでも元気に自分の足で行動できるよう、体力の持続に向けた事業を所管課や保健福祉センターと連携して行うこと。
- 地域コミュニティの場として、施設を利用しない区民が気軽に立ち寄ることができ、また、その方たちがスポーツや健康維持に興味を持てるような運営に努めること。
- 総合型地域スポーツクラブや地域スポーツ団体などの支援を行い、地域に根付いた運営を行うこと。
- 区民の施設利用に支障をきたさないよう、計画的な保守管理を行い、所管課と連携した施設維持管理を行うこと。